

ジャパン・クラウド・コンソーシアム

「観光クラウド・ワーキング・グループ」設立総会

# 観光クラウドWGに対する期待と課題

平成23年10月21日

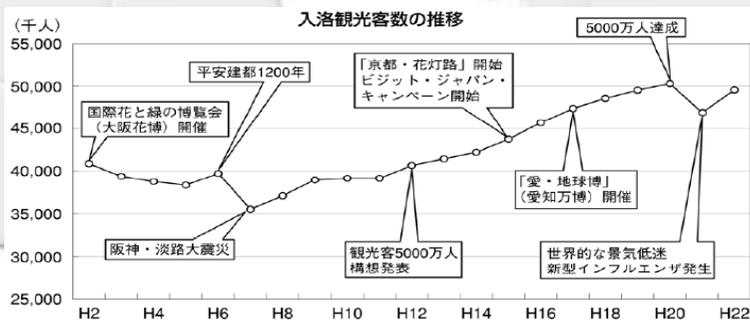
財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM)

研究開発本部 情報事業部

山内 英之

# 1. 京都の観光の現状

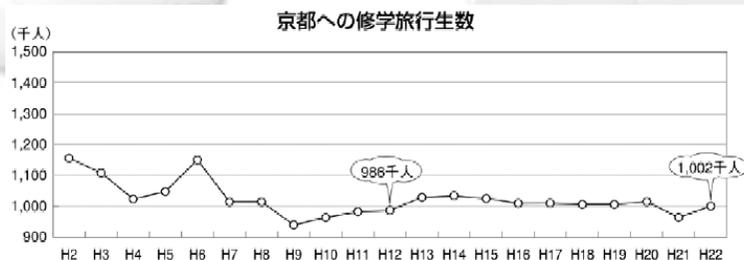
(平成23年8月発表 「平成22年度 京都観光総合調査」より)



前年を5.7%上回り、5,000万人を達成した平成20年の水準にほぼ回復



宿泊外国人客は前年から25.5%増加して過去最高に



前年から4.0%増加し、100万人の大台を回復

項目	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満	平均
	7	6	5	4	3	2	1	
総合満足度	18.5%	52.5%	20.6%	5.3%	2.0%	0.7%	0.4%	5.8

日本人観光客の満足度は総じて高い

項目	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満	平均
	7	6	5	4	3	2	1	
総合満足度	33.4%	50.9%	11.4%	3.5%	0.6%	0.2%	0.0%	6.1

外国人観光客の満足度も総じて高い

【残念に感じたこと】

分類	割合	例
1 交通状況(道路の渋滞等)	12.6%	・車のマナーが悪い ・道が混んでいて歩いた方が早い
2 電車、バスなどの公共交通機関	6.0%	・バス、タクシー運転手の態度が悪い ・バスの運転が荒い
3 気候	5.3%	・暑くて観光どころではなかった ・湿度が高い
4 目当てのものを見られなかった	3.0%	・雑誌に載っていた店がなかった ・行きかけた店が閉まっていた
5 時間が足りなかった	2.5%	・もっとたくさん見に行きたかった ・もっとゆっくり散策したかった
6 寺院・神社、名所・旧跡	1.8%	・閉門時間が早い ・事前予約が必要で入れなかった
7 トイレ	1.6%	・駅のトイレが汚かった ・トイレが少ないので困った
8 自然・風景	1.6%	・紅葉の盛りが過ぎていた ・橋がまだ壊れていなかった
9 料金が安い	1.5%	・参拝、入場にお金がかかりすぎる ・駐車場が高い
10 京都のまちの雰囲気	1.2%	・昔の街が失われた ・統一感がない

道路の渋滞など交通状況、公共交通機関に関する満足度は低い

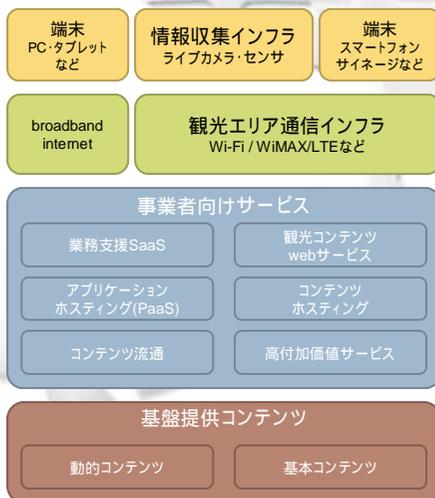
# 2. ASTEMと観光



京都観光オフィシャルサイトの構築と運用



スマートフォンを利用した位置情報サービスの実証実験 (SoftBank様との協業)



観光サービス事業者に対するのICT基盤を検討、提言としてまとめる。

歩いて京都を“発見”するコンテンツ分散型ナビゲーションの実証実験



## ◆ 見えてきた課題

### ➤ コンテンツ

- ✦ 分散されたコンテンツと分散された権利
- ✦ コンテンツの賞味期限と保守
- ✦ 差別化できないコンテンツ
- ✦ 地域慣習(法的根拠のない権利意識)

### ➤ 継続性

- ✦ ランニングコスト
- ✦ ビジネスモデル

### ➤ インフラ

- ✦ 景観条例による制約
- ✦ 交通問題と公共交通

# 3. 観光クラウドへの期待と課題

## ➤期待

- ✳️ 良いサービス企画を持つ地元サービス事業者の参入障壁の低減
- ✳️ 地域密着のコンテンツ(地域資源)の掘り起こしと新規サービスの創出
- ✳️ コンテンツ流通プラットフォームの実現と新たなビジネスモデル
- ✳️ グローバルに認知されるジャパン・プラットフォーム

京都の交通課題も解決できるプラットフォームへ  
観光客がセールスマンとなりプロモーションするプラットフォームへ

## ➤課題(挑戦)

- ✳️ いかに既存サービス事業者様のご協力をいただけるか
- ✳️ いかにコンテンツ・オーナー様のご協力をいただけるか
- ✳️ 参加者全てがハッピーになれるビジネスモデルの構築